

第4号議案 平成29年度長崎市一般会計補正予算(第7号)

(予算書ページ)	(予算科目)	(事業名)	(資料ページ)
34 ~ 35	[6 款 3 項 2 目] 1 - 1	【補助】水産業競争力強化緊急施設整備 事業費補助金 漁協等施設整備	... 1
[6・50 ~ 51]		【繰越明許費補正】 【補助】水産業競争力強化緊急施設整備 事業費補助金 漁協等施設整備	... 2
34 ~ 35	[6 款 3 項 4 目] 1 - 1	【補助】漁村再生交付金事業費 野野串漁港防波堤改良	... 3~4
	[6 款 3 項 6 目] 1 - 1	水産業費負担金 漁港事業費	... 5~6
[6・50 ~ 51]		【繰越明許費補正】 水産業費負担金 漁港事業費	... 7~9

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
34~35	6 農林水 産業費	3 水産業費	2 水産業 振興費	1-1	【補助】水産業競争力 強化緊急施設整備事 業費補助金 漁協等施設整備	千円 120,284

1 概 要

国の1次補正予算に伴い、浜の活力再生広域プラン※に基づき、国の水産業競争力強化緊急施設整備事業を活用し、競争力強化を図るための共同利用施設(製氷・冷凍施設)の新設、既存施設の撤去に対する支援を行う。

※浜の活力再生広域プラン…広域な漁村地域が連携して、浜の機能再編や中核的担い手の育成を推進するための具体的な取組を定めた計画。

2 事業内容

昭和 53~57 年にかけて整備された野母崎地区脇岬の製氷・冷凍施設は、現状では規模が過大であり、維持管理にも不要な経費を要している。また、既存施設では、氷を自動供給できないため、漁協職員の対応可能な時間帯のみ氷を供給している。

そこで、既存施設を廃止し、生産・流通の拠点である野母崎三和漁協活魚センター横に、適正な規模の製氷・冷凍施設を再整備することで、効率的な施設運営を図る。また、氷販売を自動化し、24時間供給できる体制を整備することで、漁業者の出漁機会を確保し、漁業所得の向上を図る。

(1)事業主体:野母崎三和漁業協同組合

(2)事業期間:平成 29~30 年度

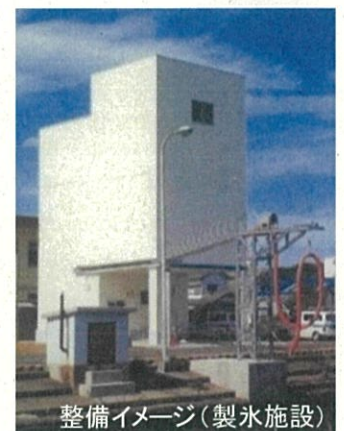
(3)補 助 率:国 1/2 以内

(4)総事業費:259,814,088 円
(補助対象経費 240,568,600 円)

(5)負担内訳:

国 1/2 120,284,000 円
(県を経由して支出)

事業主体 1/2 120,284,600 円
+補助対象外 19,245,488 円



3 財源内訳

総事業費	予 算 計上額	財源内訳					事業者(主) 負 担 額
		国 庫 支出金	県支出金 ※	地方債	その他	一 般 財 源	
千円 259,815	千円 120,284	千円 -	千円 120,284	千円 -	千円 -	千円 -	千円 139,531

※水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金

【繰越明許費】 予算説明書 6、50～51 ページ

6 款 農林水産業費 3 項 水産業費 2 目 水産業振興費

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳				
			国庫 支出金	県支出金 ※	地方債	その他	一般 財源
【補助】水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金 漁協等施設整備	補正後予算現額	120,284	-	120,284	-	-	-
	支出予定額	-	-	-	-	-	-
	繰越明許額	120,284	-	120,284	-	-	-

※水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金

繰越理由

国の1次補正予算に伴う事業が年度内に完了しない見込みであるため繰り越すもの。

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
34~35	6 農林水産業費	3 水産業費	4 漁港建設費	1-1	【補助】漁村再生交付金 事業費 野野串漁港防波堤改良	千円 ▲22,320

1 概 要

既存の消波ブロックの沈下等により防波機能が低下し、越波によって漁船や漁具及び背後集落が甚大な被害を受ける恐れがあることから、防波堤及び護岸を改良することで越波を防止して漁業活動の効率化を図るとともに、漁港内及び背後集落住民の安全を確保するもの。

また、幹線道路に連絡する集落道を整備することで、集落の生活環境改善を図るもの。

なお、今回の補正は、交付金の内示減に伴い減額補正するもの。

2 事業内容

(1)事業主体:長崎市

(2)事業箇所:長崎市 以下宿町 地先

(3)全体計画:

沖防波堤(改良) L= 60m(消波ブロック設置・防波堤嵩上げ)

北防波堤(改良) L= 52m(消波ブロック設置・防波堤嵩上げ)

J護岸(改良) L= 34m(消波ブロック設置・護岸嵩上げ)

漁業集落道 L= 40m

地域創造型整備 1式

(4)事業進捗率(事業費ベース) : 47.0%(H29年度末見込み)

(5)事業期間:平成22年度~平成32年度

(6)総事業費:945,700千円

(7)負担内訳:沖防波堤(改良)・北防波堤(改良)・J護岸(改良) 県67.5%(国50%含む)、市32.5%
漁業集落道・地域創造型整備 県65.0%(国50%含む)、市35.0%

(8)補正内訳:

H29当初計画

沖防波堤(改良) 撤去工1式、基礎工1式、消波ブロック製作7個・設置45個

漁業集落道 L=40m

H29変更計画

沖防波堤(改良) 撤去工1式、基礎工1式、消波ブロック製作0個・設置38個

漁業集落道 L= 0m

3 事業費内訳

(単位:千円)

事 業 費	財 源 内 訳				
	県支出金	地方債 ※	そ の 他	一 般 財 源	
予算現額	67,500	44,425	23,000	—	75
補正額	▲22,320	▲14,966	▲7,300	—	▲54
補正後 予算現額	45,180	29,459	15,700	—	21

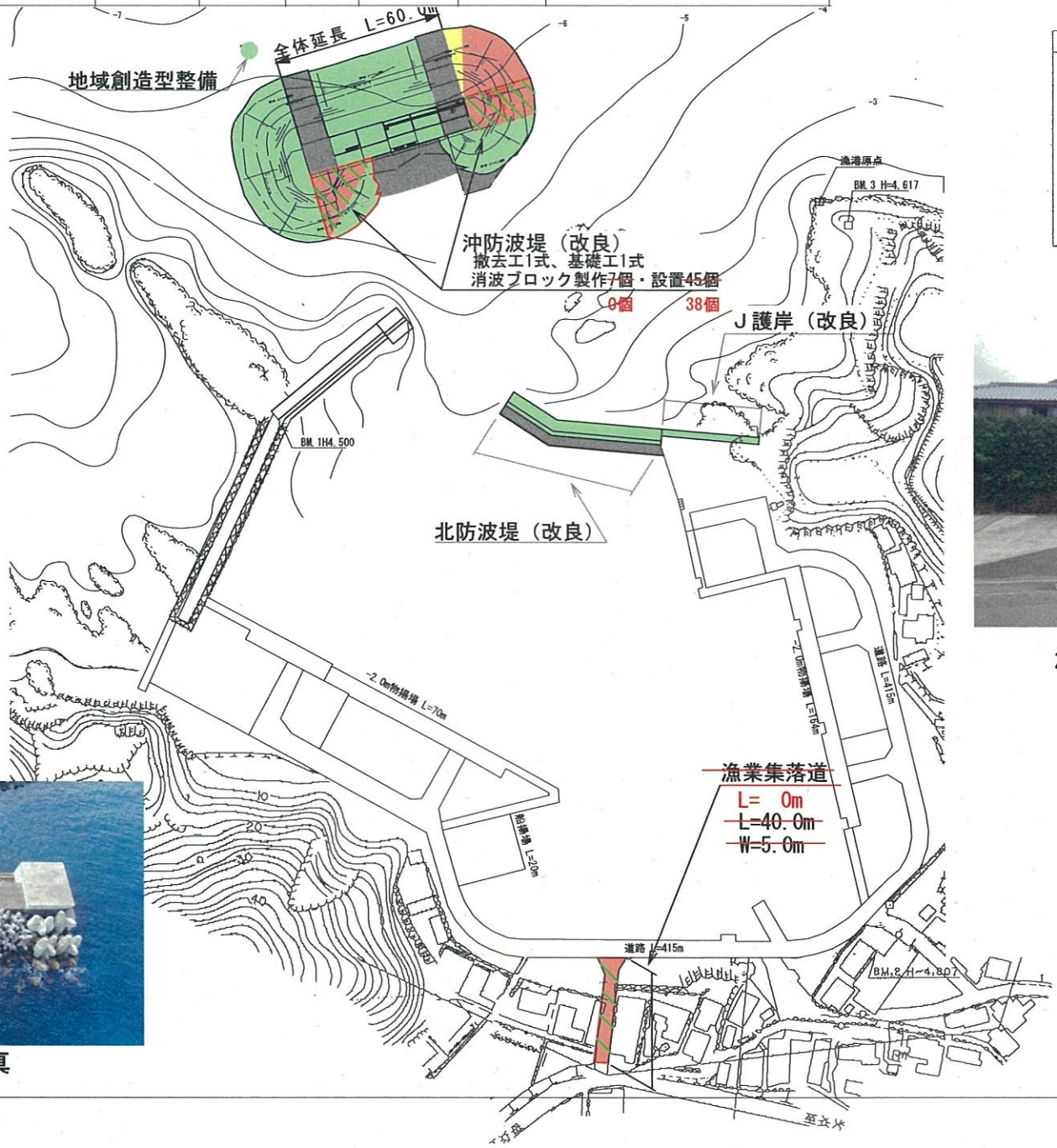
※ 過疎対策事業債 充当率 100%

漁村再生交付金事業
計画平面図 (野野串漁港)

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
4518290	第1種	本土	長崎市	長崎市	長崎県 長崎市 以下宿町



S = 1 : 1500



漁業集落道現況写真



沖防波堤現況写真

H.H.W.L	—
H.W.L	+3.30
M.W.L	—
T.P	—
L.W.L	±0.00
D.L	±0.00

	平成27年度迄実施箇所
	平成28年度実施箇所
	平成29年度実施箇所
	減額内示による変更(減)箇所
	平成30年度以降

予算説明書					事業名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
34~35	6 農林水産業費	3 水産業費	6 県施行事業費負担金	1-1	水産業費負担金 漁港事業費	千円 102,000

1 概要

長崎漁港(三重地区)において、大規模地震等の発生時に漁獲物の水揚げ機能を確保するため、耐震性を備えた岸壁を整備しているが、漁業関係者から早期完成を要望されている。

今回、国の1次補正予算を活用し、事業進捗を図るため、補正予算を計上するもの。

平成29年度 県施行事業費負担金一覧(漁港)

(単位:千円)

事業名	事業費	負担割合			市負担金	事業場所
		国	県	市		
長崎漁港水産流通 基盤整備事業	1,213,260					
当初予算	係留施設					
	通常	46,000	50.0%	40.0%	10.0%	4,600 (三重地区)
	衛生管理	101,550	2/3	4/15	1/15	6,770 (三重地区)
	輸送施設	325,710	50.0%	37.5%	12.5%	40,713 (長崎・三重地区・琴海線)
荷捌所 (衛生管理)	740,000	2/3	1/4	1/12	61,667 (三重地区)	
農山漁村地域整備交付金 (漁港環境)	397,000	50.0%	37.5%	12.5%	49,625 (長崎地区)	
農山漁村地域整備交付金 (海岸堤防等老朽化対策)	31,000	50.0%	43.0%	7.0%	2,170 (野母漁港)	
港整備交付金 (係留施設)	8,000	50.0%	37.5%	12.5%	1,000 (野母漁港)	
県単独修築事業	9,000	0.0%	75.0%	25.0%	2,250 (三重地区)	
小計	1,658,260				168,795	
長崎漁港水産流通 基盤整備事業(今回補正)	1,485,000				102,000	
今回補正	係留施設					
	衛生管理	1,305,000	2/3	4/15	1/15	87,000 (三重地区) -6m岸壁(C)(改良) 1式 -4m岸壁(A)(改良) 1式 -6m岸壁(B)(改良) 1式
荷捌所 (衛生管理)	180,000	2/3	1/4	1/12	15,000 (三重地区) 荷捌所(改良) 1式	
小計	1,485,000				102,000	
合計	3,143,260				270,795	

2 事業費内訳

(単位:千円)

事業名	金額	財源内訳		
		国庫支出金	地方債	一般財源
水産業費負担金 漁港事業費	予算現額	168,795	—	※1+2+3 151,700
	補正額	102,000	—	※4 102,000
	補正後予算現額	270,795	—	253,700

- ※1 公共事業等債 充当率 90% 147,000千円
 ※2 過疎対策事業債 充当率 100% 3,100千円
 ※3 一般単独事業債 充当率 75% 1,600千円
 ※4 公共事業等債 充当率 90%⇒100%(補正予算債による充当率の嵩上げ) 102,000千円

長崎漁港（三重地区）計画平面図

1 : 12,000

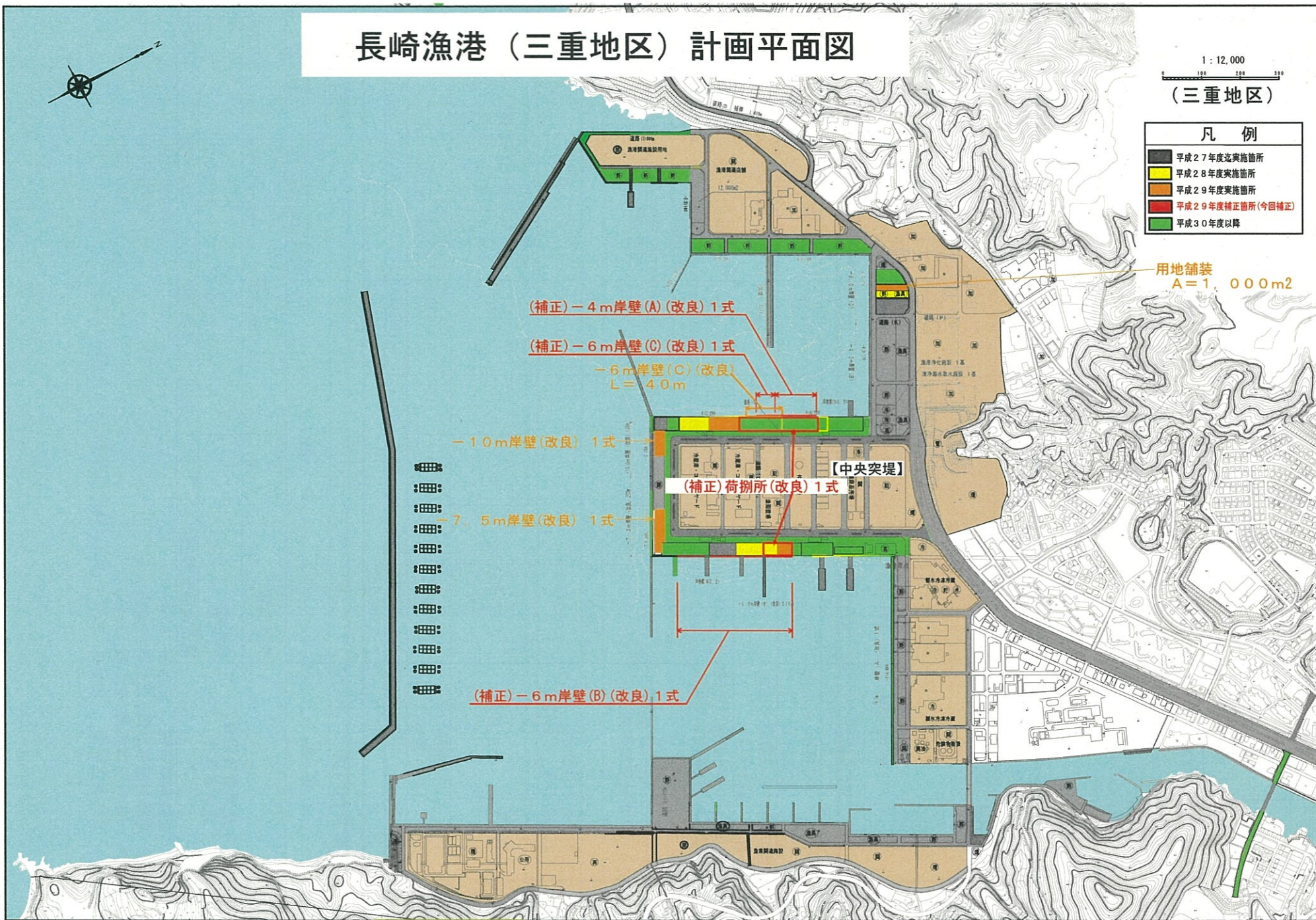


(三重地区)

凡例

- 平成27年度迄実施箇所
- 平成28年度実施箇所
- 平成29年度実施箇所
- 平成29年度補正箇所(今回補正)
- 平成30年度以降

用地舗装
A = 1,000m²



【繰越明許費】 予算説明書 6、50～51 ページ

6款 農林水産業費 3項 水産業費 6目 県施行事業費負担金

(単位:千円)

事業名	金額		財源内訳		
			国庫支出金	地方債※	一般財源
水産業費負担金 漁港事業費	補正後予算現額	270,795	—	※1+2+3+4 253,700	17,095
	支出予定額	131,405	—	※1+2+3+4(予算現額の計-繰越額の計)	13,305
	繰越明許額	139,390	—	※1+4(繰越額の計)	3,790

- ※1 公共事業等債 充当率 90% 147,000千円 (うち繰越額 33,600千円)
 ※2 過疎対策事業債 充当率 100% 3,100千円 (うち繰越額 ー千円)
 ※3 一般単独事業債 充当率 75% 1,600千円 (うち繰越額 ー千円)
 ※4 公共事業等債 充当率 90%⇒100% 102,000千円 (うち繰越額 102,000千円)
 (補正予算債による充当率の嵩上げ)

繰越理由

係留施設(岸壁)において、漁業関係者から休漁期(5月～7月)における工事を要望されたこと及び、輸送施設(琴海線)において、トンネルに隣接する区間の擁壁等の断面検討に日時を要していることから、県施行事業が年度内に完了しない見込みであるため、繰り越すもの。

また、県が1月に国の1次補正予算を受けたことにより、追加工事が年度内に完了しない見込みであるため、繰り越すもの。

平成29年度 県施行事業費負担金繰越明許費一覧(漁港)

(単位:千円)

	事業名	繰越額	事業概要
当初予算	長崎漁港水産流通 基盤整備事業	37,390	
	係留施設 衛生管理	3,640	(三重地区) -6m岸壁(B)(改良) 1式
	輸送施設	5,000	(道路 琴海線) 道路(改良) L=20m
	荷捌所 (衛生管理)	28,750	(三重地区) 荷捌所(改良) 1式
	小計	37,390	
今回補正	長崎漁港水産流通 基盤整備事業(今回補正)	102,000	
	係留施設 衛生管理	87,000	(三重地区) -6m岸壁(C)(改良) 1式 -4m岸壁(A)(改良) 1式 -6m岸壁(B)(改良) 1式
	荷捌所 (衛生管理)	15,000	(三重地区) 荷捌所(改良) 1式
	小計	102,000	
	合計	139,390	

長崎漁港（三重地区）計画平面図

1 : 12,000

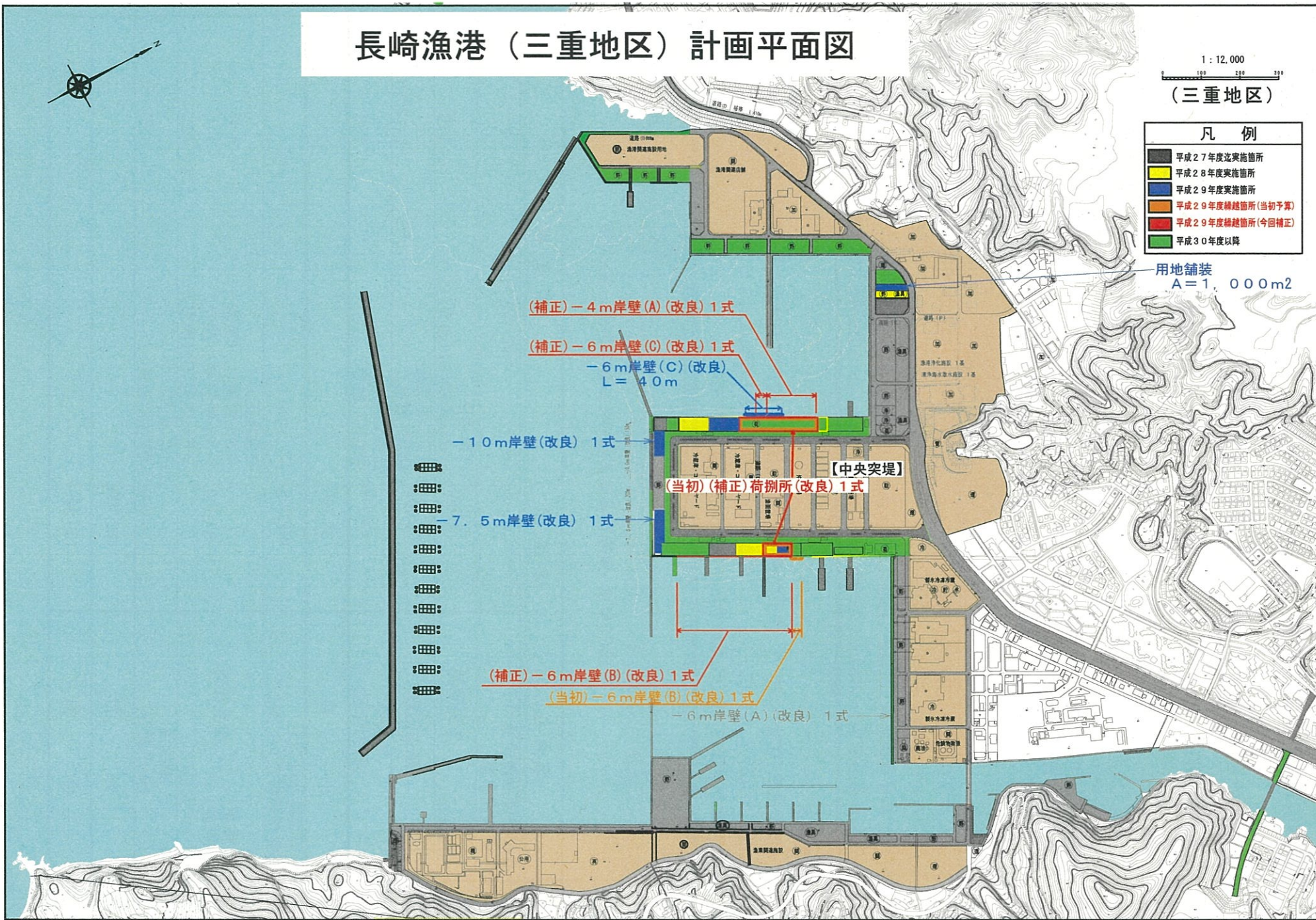


(三重地区)

凡例

- 平成27年度迄実施箇所
- 平成28年度実施箇所
- 平成29年度実施箇所
- 平成29年度繰越箇所(当初予算)
- 平成29年度繰越箇所(今回補正)
- 平成30年度以降

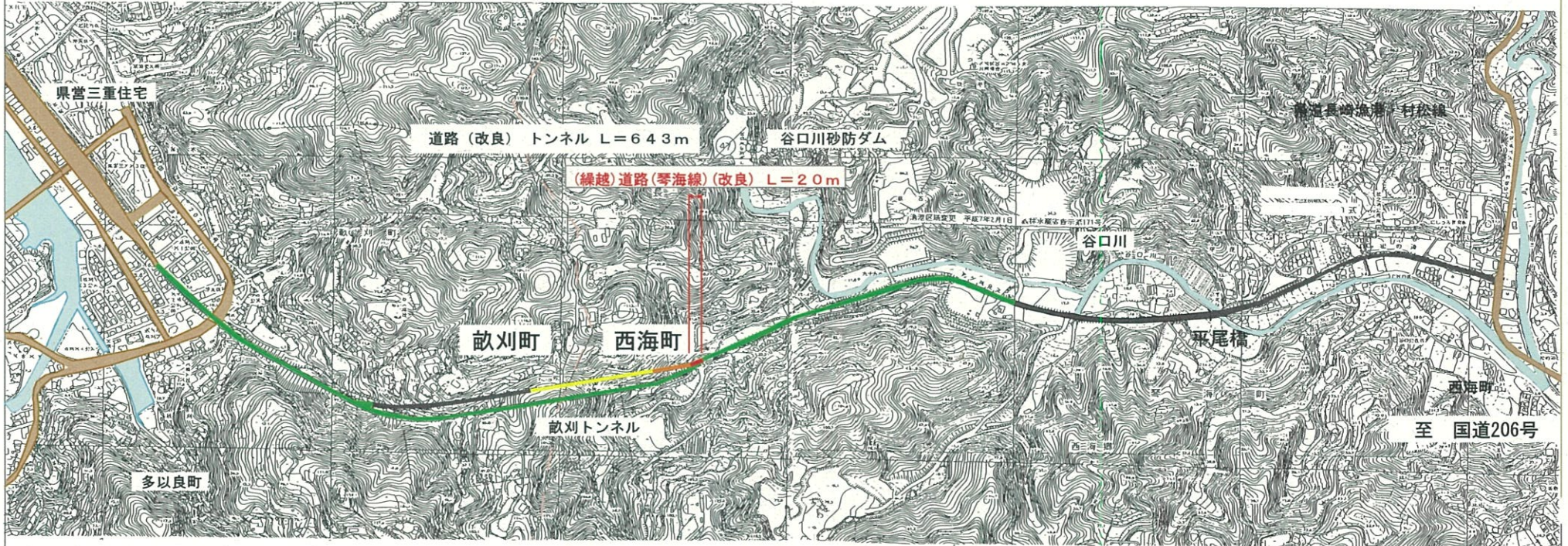
用地舗装
A=1,000m²



長崎漁港(臨港道路畝刈琴海線)計画平面図

道路(琴海線)(改良) L=2,180m (総延長L=3,290m)
 新設トンネル延長 L=643m

国道202号



県立 明誠高校

凡 例

- 平成27年度迄実施箇所
- 平成28年度実施箇所
- 平成29年度実施箇所
- 平成29年度繰越箇所
- 平成30年度以降